

安全な道路環境をめざして 6

SAFETY FOCUS

自転車利用者による車道の右側通行や信号無視が目立つ交差点

●この地点で発生した事故件数

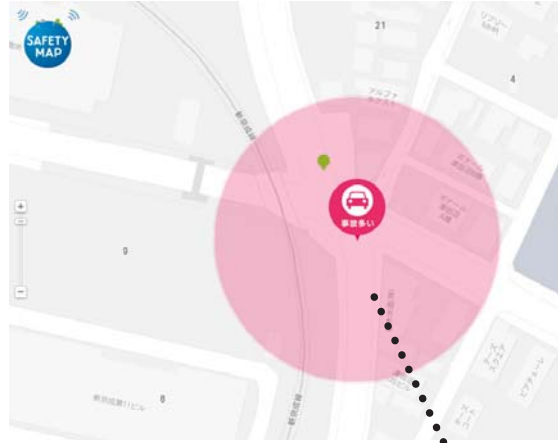
事故類型	件数
四輪車対自転車 (右左折時)	4
四輪車対歩行者 (横断中)	2
四輪車同士 (追突)	2
四輪車同士 (その他)	1

※平成25年中、千葉県警察本部提供

●「SAFETY MAP」みんなの意見

危ないと感じる理由	そう思う人
歩行者/自転車の飛出しが多い	3人

※平成27年1月31日時点



「SAFETY MAP」の表示

「SAFETY FOCUS」は、ホンダが公開している「SAFETY MAP」に示される交通上の危険が潜むスポットに足を運び、現場の交通環境と事故防止について考察する連載記事です。

「SAFETY MAP」には「みんなの意見」として一般投稿された危険スポット情報が地図上に表示されている。今回「FOCUSエリア」(下図参照)に取り上げるのは、千葉県内で3人の方が「みんなの意見」を投稿している新津田沼ガード下の下の交差点だ。ここには、歩行者/自転車の飛出しが多い(3人)という投稿が寄せられている。また、事故多発地点となっているこの場所では、平成25年中に交通事故が9件発生しており、そのうち6件はクルマ対歩行者/自転車の事故となっている。

「SAFETY FOCUS」は、ホンダが公開している「SAFETY MAP」に示される交通上の危険が潜むスポットに足を運び、現場の交通環境と事故防止について考察する連載記事です。

現場をたずねる

今回訪れた交差点は、JR線「津田沼」駅と新京成線「新津田沼」駅の東側に位置している。片側1車線道路の交差点に、抜け道として使われている一方通行道路が接続する五叉路となっており、形状は複雑だ。

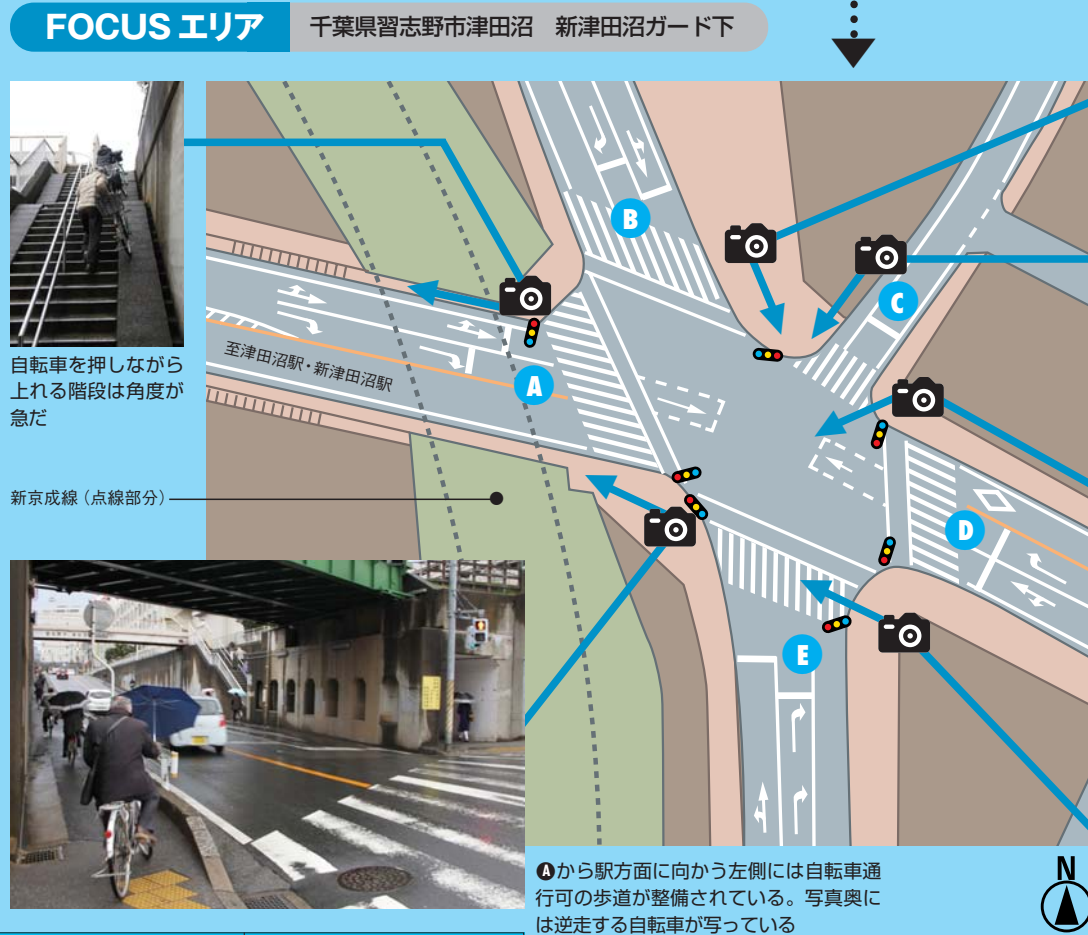
現場を訪ねた平日朝7時半は、朝から降り続く雨のなか、通勤・通学で駅に向かう自転車利用者と歩行者、そして送迎のクルマが多く行き交っていた。通勤・通学の自転車利用者と歩行者のほとんどは、地図上のDまたはCからAに向かって進む。鉄道の高架をくぐった先には、車道と平行して走行できる階段が整備されている。この階段は角度が急であるため、それを嫌ってAを逆走する自転車利用者が散見された。

一方通行路となっているCは交差点に向かって上り坂になっている。信号待ちで停車しているクルマの脇をすり抜けた自転車利用者は、赤信号でも横断歩道の手前で停止せずBに向かって歩道上に入る。この時、横断歩道上の歩行者と接触する場面を数回確認した。また、観察中は雨が降っていたため、傘さし運転の自転車が後を絶たなかった。

●この地点を通過する自転車の状況(台数)

走行位置			信号遵守		危険運転	
車道左側端	車道右側端(逆走)	歩道	青点滅で進行	赤信号で進行	傘さし運転	イヤホンヘッドホン
17	18	550	5	20	122	8

※観察日：平成27年1月23日 午前7時30分～8時30分



①から来た自転車(写真右)と④から来た自転車(写真左)が危うく接触しそうになる



③から来た自転車(写真右)が歩行者と交錯



①から②への右折車両が、あやうく④からの直進車両と接触しそうになった



通勤時間帯の交差点は多くの歩行者と自転車が往来

クルマと自転車・歩行者の通行を分離する

五叉路内には至るところに歩行者用信号機が設置されているが、「自転車・歩行者専用」と明記されていたのは②の横断歩道のみ。自転車利用者がどの信号機を守ればよいか、よりわかりやすい表示が必要だと思われる。

また、Aの停止線に停車しているクルマの運転席からは②の横断歩道の状況を把握するのは道路形状的に難しい。さらに、①から②へ右折するクルマが横断歩道の前で停止すると、Aから②へ左折するクルマのドライバーはそれが死角をつくり、自分に向かってくる歩行者や自転車が気づけなくなる。クルマと自転車・歩行者の通行を、信号機で分離することを検討してもよいのではないだろうか。

この交差点で平成25年に発生した6件のクルマ対歩行者/自転車の事故のうち、4件は②の横断歩道付近で、②に向かってAから左折するクルマと①から右折するクルマが自転車や歩行者と接触している。現場を確認すると、駅方面からAに向かって下り坂になっており、自然とスピードが出てくるクルマが多かった。クルマは十分な減速と同時に、横断歩道上の自転車や歩行者の存在を意識して交差点に進入しなければならぬ。

一方、自転車利用者の行動は目に余るものがあった。危険を感じたのは②の横断歩道の信号無視と、Aの駅方面に向かう車道の右側通行(逆走)だ。自転車を押しして階段を上がる不便を避けるなら、あらかじめ左側通行できるように道路を横断しておくべきだ。

Cを通行する自転車は駅へ急ぐために全力で坂道をかけ上がり、横断歩道上に歩行者がいても、その間をすり抜けて走っていた。信号を守ることはもちろんだが、横断歩道では歩行者優先を心がけなければならぬ。

自転車・歩行者の存在を意識して交差点内へ

千葉県警察や道路管理者のさらなる安全対策が期待される。

①から②へ右折するクルマが横断歩道前で一時停止。このとき、Aから②へ左折するクルマからは歩行者や自転車が気づけなくなる



赤信号で横断歩道を通行する自転車



車道を右側通行する自転車。黄色の看板は注意喚起の表示

「SAFETY MAP」のご活用・ご参加をお願いします!

ホンダ セーフティマップ 検索

<http://www.honda.co.jp/safetymap/>

「SAFETY MAP」は「みんなで作る安全マップ」です。Hondaのインターナビが集めた日本中を走るクルマの急ブレーキ情報と、交通事故情報、そして皆さんの声で地図はつくられます。お手持ちのPC・スマートフォンからアクセスできますので、あなたの周囲に危ないと感じる場所があったら、情報を投稿してください。